

学 会 録 事

1. 2023 年度第 2 回持ち回り評議員会

2023 年 2 月 13 日～2 月 24 日に開催した。【議案 1】第 19 回研究奨励賞（2023 年 3 月授与）を石川達也氏に授与することの可否を審議し、その結果、国内評議員 14 名のうち 12 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。【議案 2】日本藻類学会学術賞（2023 年 3 月授与）を堀口健雄氏に授与することの可否を審議し、その結果、国内評議員 14 名のうち 12 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

2. 2023 年度第 3 回持ち回り評議員会

2023 年 2 月 16 日～1 月 24 日に開催した。【議案 1】「第 20 回国際有害有毒藻類学会」を日本藻類学会が後援（後援名義の使用）することの可否を審議し、その結果、国内評議員 14 名のうち 10 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

3. 2023 年度第 4 回持ち回り評議員会

2023 年 3 月 6 日～3 月 10 日に開催した。【議案 1】次期英文誌編集長（2024–2026 年）を長里千香子氏（北海道大学）および平川泰久氏（筑波大学）とすることの可否を審議し、その結果、国内評議員 14 名のうち 12 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。【議案 2】次期会計監事（2023 年、2024 年）を沖野龍文氏および堀之内祐介氏とすることの可否を審議し、その結果、国内評議員 14 名のうち 12 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

4. 2023 年度評議員会

2023 年 3 月 15 日（水）13:30～16:00 にオンライン（Zoom 会議）により開催した。2023 年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議を行った。内容に関しては、総会の項を参照されたい。

5. 2023 年度総会

第 47 回大会において、2023 年 3 月 22 日（水）17:15～18:45 にオンライン（Zoom 会議）により開催した。会長から挨拶があり、その後、議事に入った。

<報告事項>

■庶務関係

(1) 会員状況（2022 年 2 月の雑誌発送会員）：名誉会員 4 名、普通会员 473（国内・一般 377 名、国内・学生 67 名、外国 29 名）、団体会員 43、賛助会員 3（会費を 2 年滞納した会員への雑誌発送を停止している。会則が改正され（2021 年 1 月 1 日施行）、会費を 3 年以上滞納したとき会員資格を失うこととなっている。）

(2) 2022 年度事業報告：1) 日本藻類学会第 46 回大会一オ

ンライン福井・2022—の開催（2022 年 3 月 28 日～30 日）：1 日目は藻類学ワークショップ、2 日目は口頭発表（2 会場）、ポスター発表、公開シンポジウムが行われ、3 日目は口頭発表（2 会場）、ポスター発表（高校生含む）、表彰式（学術賞、特別賞、研究奨励賞、論文賞、学生発表賞）が行われた。2) 日本藻類学会第 46 回大会 藻類学ワークショップの開催：「画像解析」講師：塩野克宏氏、「光合成解析」講師：嶋川銀河氏、「ゲノム編集」講師：市原健介氏、「メタボローム解析」講師：羽野健志氏（2022 年 3 月 28 日 13:00～16:55、オンライン）。3) 日本藻類学会第 46 回大会企画シンポジウム「藻類をめぐる様々な生物間インタラクション」：木村圭氏「ノリとの共存関係を展開するバクテリア群集とウイルス」、高木悠花氏「浮遊性有孔虫と藻類の細胞内共生関係に迫る」、児玉有紀氏「細胞内共生クロレラが与える宿主ミドリゾウリムシへの影響について」、鏡味麻衣子氏「藻類にとりつく様々な菌類たち：宿主寄生者関係と生態系への影響」（2022 年 3 月 30 日、オンライン）。4) 学生発表賞の実施：口頭発表（微細藻類の部、大型藻類の部）、ポスター発表（微細藻類の部、大型藻類の部）。2019 年第 3 回持ち回り評議員会で決定された学生発表賞選考実施要領に従い実施した。5) 和文誌「藻類」70 巻 1～3 号の発行（3, 7, 11 月発行）。6) 英文誌「Phycological Research」70 巻 1～4 号の発行（1, 4, 7, 10 月発行）。7) 評議員会：持ち回り評議員会の実施（13 回）、2022 年度評議員会（2022 年 7 月 30 日（土）13:00～15:00、Zoom 会議、2022 年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議）。8) 2022 年度総会の開催：2022 年 8 月 20 日（土）15:00～16:30、オンライン（Zoom 会議）。9) 会長および評議員（2023 年、2024 年）選挙：2022 年 7 月 25 日～8 月 8 日にかけて実施。10) AlgaeBase のスポンサーとしてサポート。11) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与（2022 年 3 月授与）と募集、選考（2023 年 3 月授与）。12) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与（2022 年 3 月授与）と募集、選考（2023 年 3 月授与）。13) 第 18 回日本藻類学会研究奨励賞の選考、授与と第 19 回日本藻類学会研究奨励賞の募集。14) 第 25 回日本藻類学会論文賞の授与と第 26 回日本藻類学会論文賞の選考。15) 和文誌「藻類」の転載許可。16) 自然史学会連合の事業に参加。17) 日本分類学会連合の事業に参加。18) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加。19) 和文誌「藻類」バックナンバーの学会 HP 上への掲載。20) 学会 HP による情報配信。21) 同報メールによる情報配信。2023 年 3 月現在、236 件（昨年 6 月時点では 237 件）が送信先リストに登録されている。22) 日本藻類学会 70 周年記念事業。

■会計関係

- (1) 2022 年度会費納入率（2023 年 2 月 28 日現在，雑誌発送会員を対象：普通会員（国内・一般）100%，普通会員（国内・学生）106%，外国会員 42%，団体会員 28%，賛助会員 20%
- (2) 一般会計決算等，その他の事項に関しては審議事項を参照されたい。

■編集関係

- (1) 2022 年に発行した英文誌「Phycological Research」70 巻 1～4 号は，総頁数 224 頁，掲載論文数 22 編であった。編集にかかった日数，投稿者の国名，受理となった論文の割合，インパクトファクター（IF）の推移等（2021 年 IF は 1.560）が報告された。論文投稿数が少ないことから，論文投稿依頼の呼びかけがあった。
- (2) 2022 年に発行した和文誌「藻類」70 巻 1～3 号は，総頁数 214 頁，報文 15 報（原著論文 8 報，短報 1 報，総説 3 報，藻類学最前線 1 報，希少種情報 2 報），記事 10（参加記・開催記，遊藻子，雑録，追悼文），第 46 回大会プログラム（オンライン福井 2022），PR 要旨，学会関連記事（学会賞，学会録事等）。これらに関連して，前述の編集委員会の項も参照されたい。

<審議事項>

■会計関係

- (1) 2022 年度一般会計決算について報告および審議が行われ，表 1 のとおり承認された。
- (2) 2022 年度山田幸男博士記念事業基金特別会計について報告および審議が行われ，表 2 のとおり承認された。
- (3) 2022 年度研究奨励賞事業基金特別会計について報告および審議が行われ，表 3 のとおり承認された。
- (4) 2022 年度一般会計決算，特別会計決算について，監査報告（会計監事：沖野龍文氏，市原健介氏）があった。
- (5) 2022 年度一般会計，山田幸男博士記念事業基金特別会計および研究奨励賞事業基金特別会計の予算は，表 4，表 5 および表 6 のとおり承認された。

■庶務関係

- (1) 2023 年度事業計画として以下の事項が承認された。1) 日本藻類学会第 47 回大会—オンライン北海道・2023—の開催（2023 年 3 月 20 日～22 日）。2) 日本藻類学会第 47 回大会—オンライン北海道・2023—でのシンポジウム「誰でも学べる藻類学」の開催，講演者等：堀口健雄氏（北海道大学），山下翔大氏（国立遺伝学研究所），加藤亜記氏（広島大学），アルガルムービー鑑賞会，ゆるふわ生物学。3) 藻類学ワークショップの開催：第 47 回大会に合わせて，「メタバーコーディング法概説：夢の技術の夢のない現実の話」田辺晶史氏（東北大学大学院生命科学研究所），「microeukaryote メタバーコーディング解析の現状と課題」長井敏氏（国立研究開発法人水産研究・教育機構，水産技術研究所）。4) 学生発表賞の実施：口

頭発表（微細藻類の部，大型藻類の部），ポスター発表（微細藻類の部，大型藻類の部）。5) 評議員会（2023 年 3 月 15 日：オンライン）・総会（2023 年 3 月 22 日：オンライン）の開催。6) 和文誌「藻類」71 巻 1～3 号の発行（3，7，11 月発行）。7) 英文誌「Phycological Research」71 巻 1～4 号の発行（1，4，7，10 月発行）。8) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与（2023 年 3 月），募集と選考（2024 年 3 月授与）。9) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与（2023 年 3 月），募集と選考（2024 年 3 月授与）。10) 第 19 回日本藻類学会研究奨励賞の選考，授与（2023 年 3 月）と第 20 回日本藻類学会研究奨励賞の募集と選考（2024 年 3 月授与）。11) 第 26 回日本藻類学会論文賞の授与（2023 年 3 月）と第 27 回日本藻類学会論文賞の選考（2024 年 3 月授与）。12) 藻類和名の整理に向けた「藻類和名のワーキンググループ」の活動。13) 日本藻類学会 70 周年記念事業。14) 会計監事（2023 年，2024 年）の選出：沖野龍文氏（北海道大学）および堀之内祐介氏（北海道大学）。15) 和文誌「藻類」の学会 HP 上での即時公開。16) AlgaeBase のスポンサーとしてのサポート。17) 自然史学会連合の事業に参加。18) 日本分類学会連合の事業に参加。19) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加。20) 学会 HP による情報配信。21) 同報メールによる情報配信。22) 国際有害藻類学会議の後援。

- (2) 次期（2024 年～2026 年）英文誌編集長を長里千香子氏（北海道大学）および平川泰久氏（筑波大学）にすることが承認された。
- (3) 次期会計監事（2023 年，2024 年）を沖野龍文氏および堀之内祐介氏（北海道大学）とすることが承認された。
- (4) 日本藻類学会第 48 回大会を神戸大学で 2023 年 3 月 22 日～24 日に行うことが承認された。

6. 2023 年度第 5 回持ち回り評議員会

2023 年 3 月 26 日～3 月 31 日に開催した。【議案 1】本学会が第 23 回マリンバイオテクノロジー学会大会の協賛となることの可否を審議し，その結果，国内評議員 14 名のうち 12 名からの回答があり，回答者全員の賛成により承認された。

7. 学会 HP による情報配信と記載内容の更新

2023 年 2 月から 5 月に掲載・更新した内容は次の通りです。

- ・シンポジウム情報
- ・博士研究員の公募情報
- ・和文誌投稿規定の更新
- ・和文誌 藻類 71 巻 1 号までの PDF ファイルの公開
- ・学会資料集，学会概要の更新
- ・第 23 回マリンバイオテクノロジー学会大会開催のお知らせ
- ・国際有害有毒藻類学会（ICHA）開催のお知らせ
- ・日本藻類学会第 47 回大会の開催について

表 1. 2022 年度一般会計決算 (2022.1.1-2022.12.31)

収 入 (円)			支 出 (円)		
会 費		4,552,000	和文誌経費		2,478,365
普通 (国内・一般)	3,239,000		英文誌経費		5,420,000
普通 (国内・学生)	300,000		編集費		0
外国会員	133,000		和文誌編集補助費	0	
団体会員	760,000		英文誌編集補助費	0	
賛助会員	120,000		庶務費		278,888
和文誌関係収入		449,255	事務用品費	31,617	
定期購読	112,050		会議費	0	
バックナンバー	1,750		通信印刷費	231,506	
別刷・超過頁代	211,000		諸雑費	15,765	
広告代	120,000		幹事旅費補助		0
著作権許諾料金	4,455		大会補助費		0
英文誌関係収入		2,149,781	自然史学会連合分担金		0
超過頁代	0		分類学会連合分担金		10,000
版權還付金	2,149,781		レンタルサーバー代		7,731
受取利息		66	AlgaeBase への寄付		100,000
その他		296,230	派遣旅費補助		0
			託児費補助		0
小 計		7,447,332	小 計		8,294,984
前年度繰越金		12,262,719	次年度繰越金		11,415,067
合 計		19,710,051	合 計		19,710,051

表 2. 2022 年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算
(2022.1.1-2022.12.31)

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度繰越金	1,978,665	記念品費	26,400
受取利息	18	各賞用雑費	47,236
		次年度繰越金	1,905,047
合計	1,978,683	合計	1,978,683

表 3. 2022 年度研究奨励賞事業特別基金会計決算
(2022.1.1-2022.12.31)

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度繰越金	1,541,728	奨励賞賞金	200,000
受取利息	6	振込手数料	1,540
		次年度繰越金	1,340,194
合計	1,541,734	合計	1,541,734

表 4. 2023 年度一般会計予算 (2023.1.1-2023.12.31)

収 入 (円)			支 出 (円)		
会費		4,366,300	和文誌経費		2,100,000
普通 (国内・一般)	2,905,200		英文誌経費		5,420,000
普通 (国内・学生)	318,250		編集費		300,000
普通 (外国)	192,850		和文誌編集補助費	100,000	
団体会員	860,000		英文誌編集補助費	200,000	
賛助会員	90,000		庶務費		240,000
和文誌関係収入		366,250	事務用品費	30,000	
定期購読	150,000		会議費	0	
バックナンバー	5,250		通信印刷費	200,000	
別刷・超過頁代	150,000		諸雑費	10,000	
広告代	60,000		幹事旅費補助		0
著作権許諾料金	1,000		大会補助費		0
英文誌関係収入		2,250,000	自然史学会連合分担金		40,000
超過頁代	150,000		分類学会連合分担金		10,000
版權還付金	2,100,000		レンタルサーバー代		7,500
受取利息		60	AlgaeBase への寄付		0
			派遣旅費補助		0
			託児費補助		0
小計		6,982,610	小計		8,117,500
前年度繰越金		11,415,067	次年度繰越金		10,280,177
合計		18,397,677	合計		18,397,677

表 5. 2023 年度山田幸男博士記念事業特別基金会計予算
(2023.1.1-2023.12.31)

収 入 (円)		支 出 (円)	
受取利息	20	記念品費	30,000
		各賞用雑費	15,000
前年度繰越金	1,905,047	次年度繰越金	1,860,067
合計	1,905,067	合計	1,905,067

表 6. 2023 年度研究奨励賞事業特別基金会計予算
(2023.1.1-2023.12.31)

収 入 (円)		支 出 (円)	
受取利息	10	奨励賞賞金	100,000
		振込手数料	1,000
前年度繰越金	1,340,194	次年度繰越金	1,239,204
合計	1,340,204	合計	1,340,204